

報 告 書

2021年 2月 27日

活動実施団体名 行徳生物多様性フィールド
ミュージアム研究会

責任者名：風呂田利夫

報告書作成者名：野長瀬雅樹

1. 活動の名称（タイトル・テーマなど）

フィールドミュージアム「ヤゴを探そう」

2. 実施日

2020年10月25日

3. 実施場所

千葉県市川市新浜3 行徳鳥獣保護区

4. プログラム等

10時 集合・受付 挨拶の後保護区内へ移動

10時～ 保護区内の淡水池・棚田でタモ網を使ってヤゴを探す

13時 振り返り・解散

5. 対象・参加人数（内訳）

一般参加10名（3家族+2。子供6名・大人4名）

スタッフ4名

6. 活動の内容・状況・感想（参加者並びに主催者）

市街地や倉庫群に囲まれた行徳鳥獣保護区。人工の自然保護区ながら、造成後40年以上が経過した当地には狭いながらも淡水・汽水・海水と繋がる連続的な湿地環境や樹林、ヨシ原など多様な環境が形成されています。フィールドミュージアムはそんな保護区の様々な生き物たちを知り、地域の生き物や保護区の自然に親しんでいこうという調査観察会です。

2020年度第3回はヤゴ。第2回でヤゴが複数種採集されたので、より詳しく観察してみようということで房総蜻蛉研究所の互井賢二氏を講師にヤゴ探しを行いました。最初に探した旧淡水池では見つからず、次の長靴池では常設のカゴ網を引き上げてコシアキトンボのヤゴを確認。最後に棚田でタモ網をふるいヤゴを探しました。最後に集まって採集したヤゴを講師の配付資料と解説の下観察。開催時期がやや遅かったので個体数はかなり少なかったものの

ギンヤンマ・シオカラトンボ・アオモントトンボ属(おそらくアオモンイトトンボとアジアイトトンボの2種と思われる)が見つかりました。来年度は時期を考慮してもう少し種類を見つけないかと思っています。

7. 写真



淡水池での採集



棚田での採集



解説と観察



コシアキトンボ



ギンヤンマ



シオカラトンボ